

1 調査名称：(和泉市)都市計画道路見直し検討業務

2 調査主体：和泉市

3 調査圏域：和泉市域

4 調査期間：平成 26 年度～平成 27 年度

5 調査概要：

都市計画決定後、長期にわたり事業着手がなされていない和泉市内の既決定都市計画道路について、様々な観点から計画の必要性、事業の実現性等の評価を行い、現状及び今後の社会経済情勢の変化に合わせた、新たな都市計画道路ネットワークの在り方を検討し素案としてまとめたものである。

I 調査概要

1 調査名称：(和泉市)都市計画道路見直し検討業務

2 報告書目次

第1章 業務概要および計画準備

第2章 基礎データ調査・作成

第3章 将来交通量推計

第4章 基本方針（素案）の洗練

第5章 検討路線の必要性の検証

第6章 都市計画図書の作成

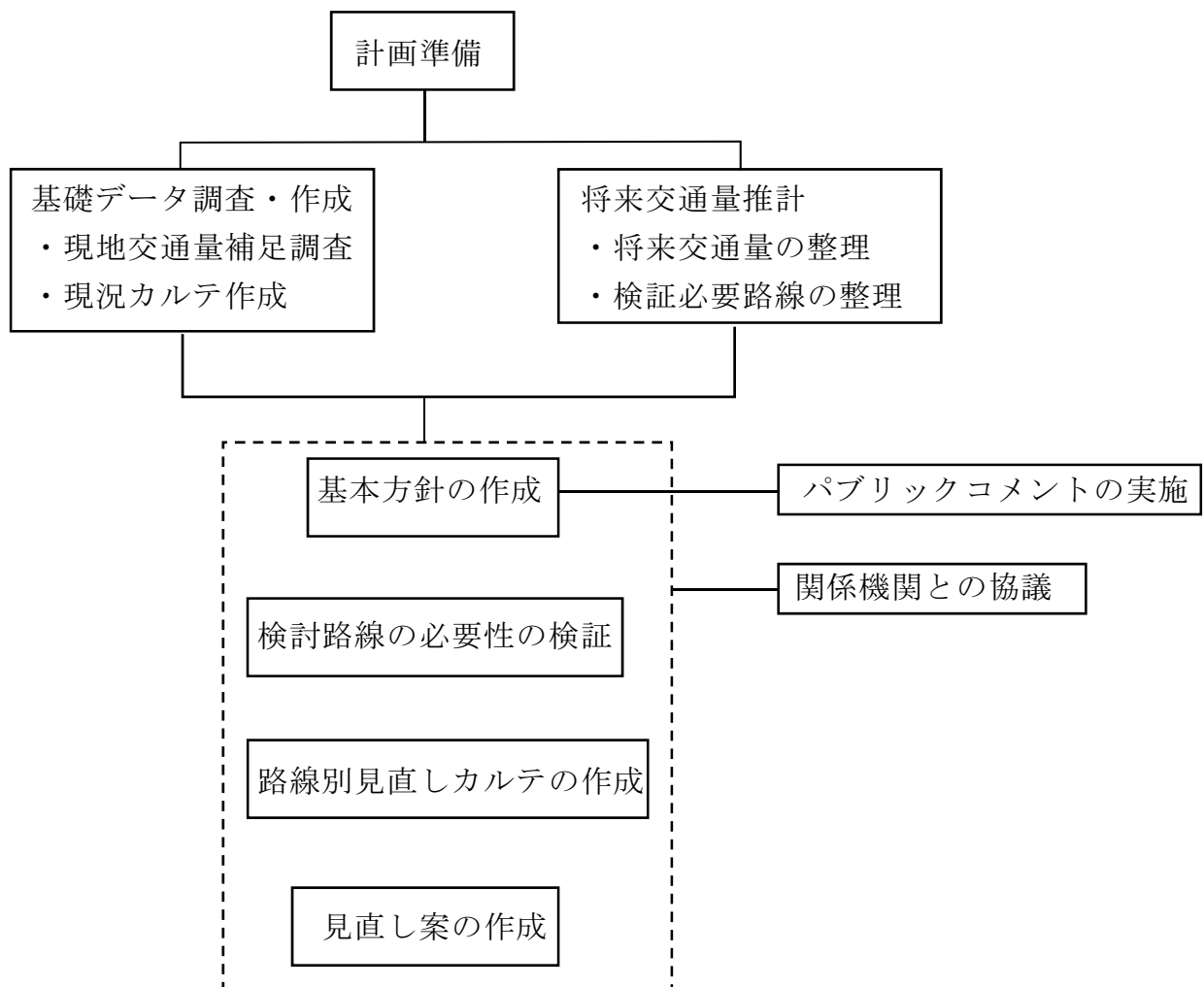
II 調査成果

1 調査目的

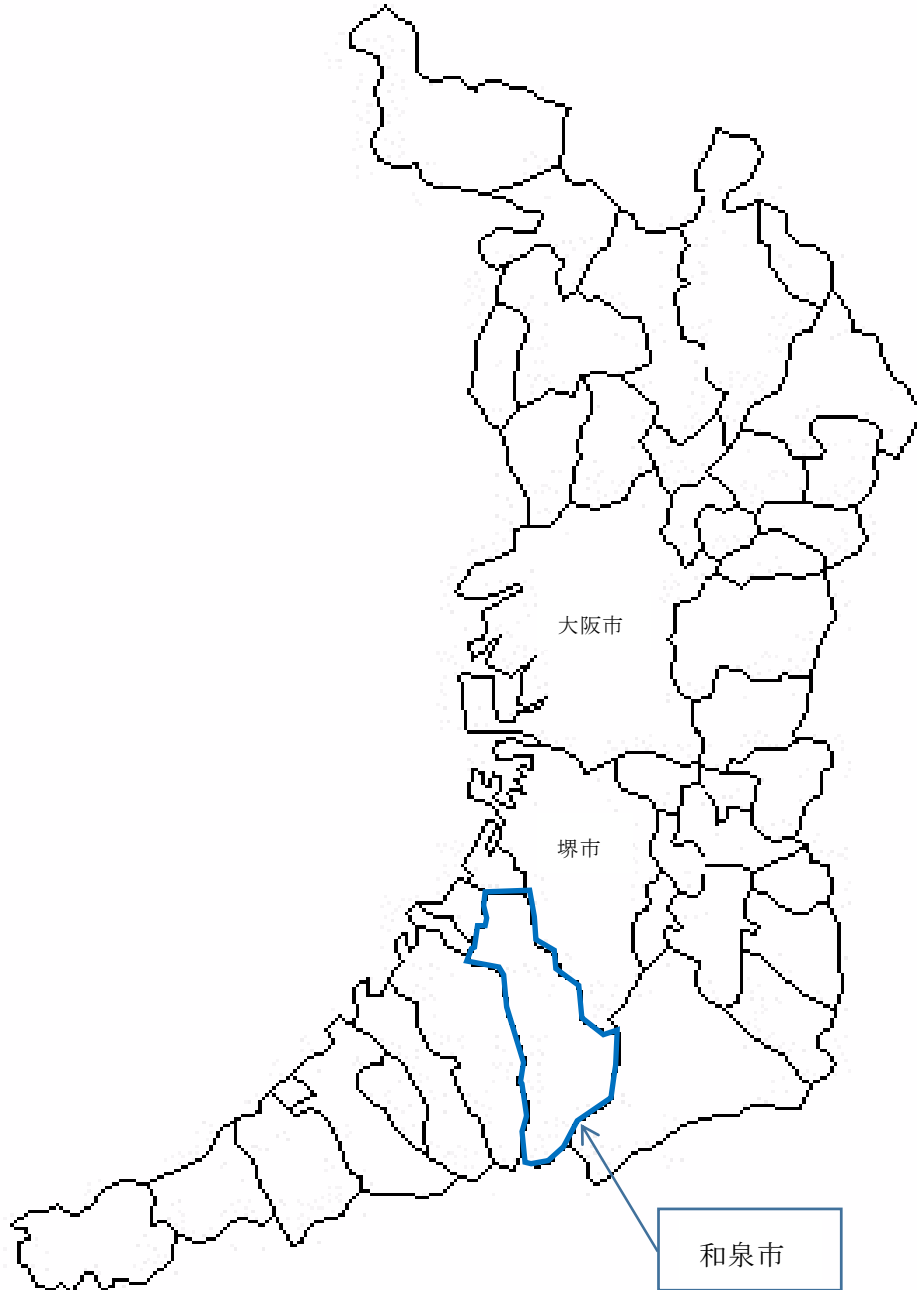
本市の都市計画道路はこれまで、高度経済成長期の急激な都市の拡大等に対処するため、昭和30年代から40年代前半にかけて数多く都市計画決定されてきましたが、その後の経済の状況による財政の制約等により、都市計画道路の整備ペースも鈍化した結果、未着手の都市計画道路が数多く残り、またその期間も長期化している状況がある。

また、和泉市の将来人口は長期的に見ると減少が予測され、少子高齢化などが進みつつあり、こうした状況を踏まえ、将来の都市づくりの方向性と整合した都市計画道路の在り方を検討するにあたり、定量的・定性的な観点から、都市計画道路ネットワークにおける路線機能について再検証することを目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



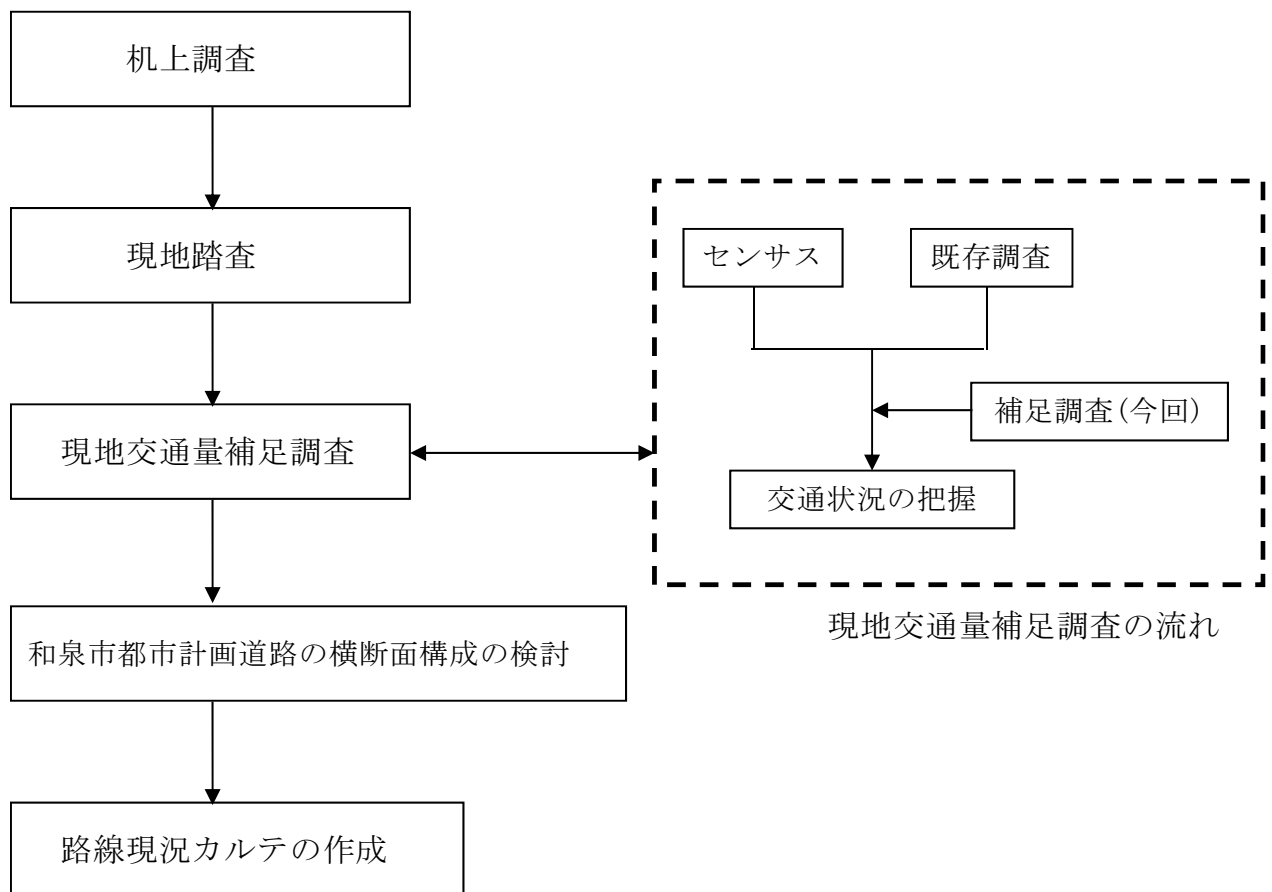
4 調査成果

(1) 基礎データの調査

都市計画道路の見直しを行うにあたり、机上調査で現況の把握が難しい箇所や、検討路線に関連する道路の内、現在渋滞などの問題が発生している箇所については、現地調査を行い課題の抽出を行った。

また、検討路線に影響を与える路線で、H22 道路交通センサス等の現況交通量調査にて、詳しい現地の状況の把握が難しい箇所については、現地交通量補足調査を実施し交通量と渋滞状況等の把握を行った。

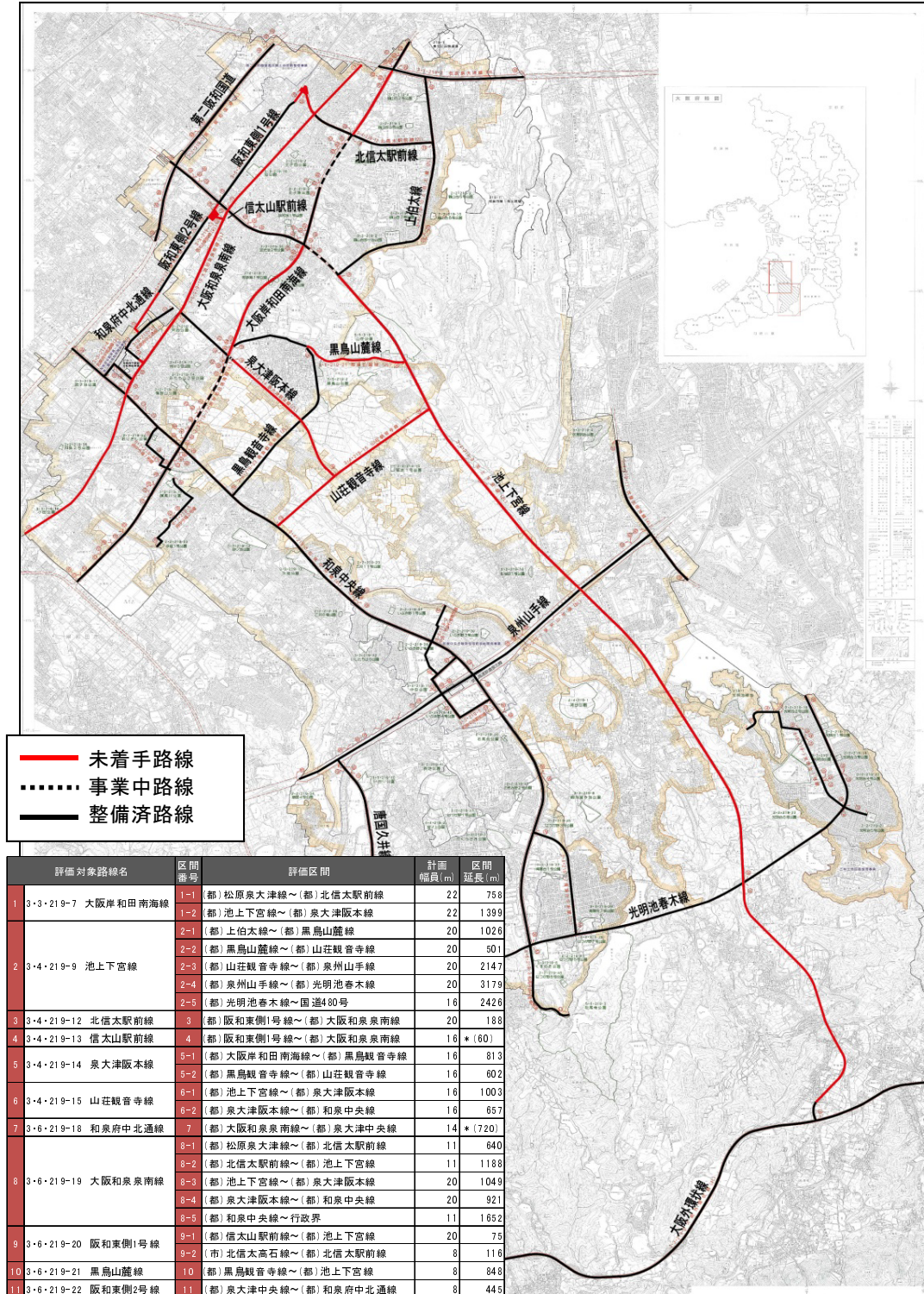
下記に基礎データ調査の流れを示すが、現地踏査等から得た調査結果は基礎データとして整理し、個別路線・区間毎に現況カルテとしてとりまとめを行った。



基礎データ調査の流れ

(2) 見直し評価対象路線の抽出 (区間)

評価対象路線は、都市計画道路のうち、事業未着手路線、又は一部整備済み（事業中）である路線を対象とし、「都市計画道路」同士の交差点で分割を行い、見直し評価対象区間の設定を行った。以下に評価対象路線（区間）を示す。



※信太山駅前線、和泉府中北通線は、概成済みであり未整備延長は0mとなります。
 なお()内は、計画延長を記載しています。

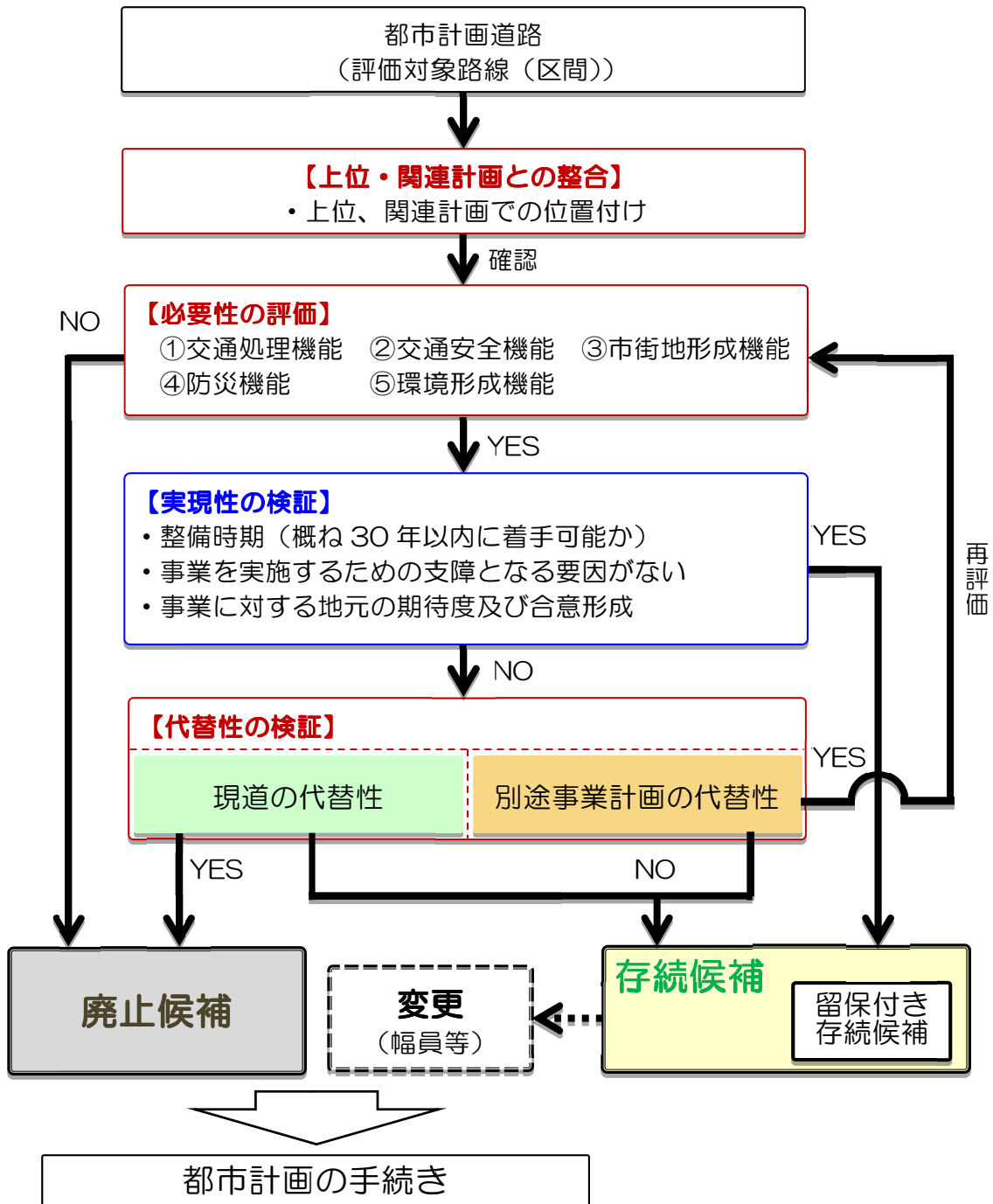
(3) 見直しで評価する機能・項目

都市計画道路の見直しの評価は、下表の評価項目を基本とし、これらの評価項目、評価基準を参考に各路線の必要性等について評価を行い、「存続候補」「廃止候補」等の見直しの方向性を示すものとする。

評価項目		評価基準
(1) 上位・関連計画との整合性		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン等の上位計画、関連計画等の都市づくり方針と整合
(2) 必要性	① 交通処理機能	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路とのネットワークを構成 広域幹線道路を相互に連絡 周辺道路も含め渋滞緩和に寄与 複数の市町村を跨ぎ地域間の連携・交流に寄与
	② 交通安全機能	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者自転車の交通安全に寄与 児童の交通安全に寄与 公共交通の円滑化に寄与 徒歩や自転車による駅へのアクセス機能向上に寄与 交通バリアフリー基本構想での特定経路等に指定
	③ 市街地形成機能	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用を誘導し市街地を形成 具体的な収容施設計画の有無
	④ 防災機能	<ul style="list-style-type: none"> 広域緊急交通路としてネットワークを構成 防災拠点や広域避難地等のアクセス向上に寄与 密集市街地内、又は延焼防止のための幅員が不足する区間
	⑤ 環境形成機能	<ul style="list-style-type: none"> 緑被率の少ないエリア内 自転車や公共交通の利用促進による環境負荷の少ない都市構造の形成に寄与
(3) 代替性		<ul style="list-style-type: none"> 見直し対象路線と同等の機能を有する現道、又は計画が存在 (必要に応じて、再評価)
(4) 実現性		<ul style="list-style-type: none"> 概ね 30 年以内に整備着手が可能 支障となる地形地物等の物理的な状況 地域の期待度や合意形成の状況

(4) 見直しの進め方

都市計画道路の見直しは、和泉市都市計画道路見直し基本方針に基づき実施し、個別路線・区間毎に見直しカルテを作成し、関係機関と調整しながら、「変更」や「廃止」の影響を詳細に検討し、「存続」「変更」「廃止」候補に分類する。以下に見直しの評価フローを示す。



(5) 都市計画道路ネットワークの検証

都市計画道路見直し評価の結果を踏まえた再編道路ネットワーク（案）について、将来交通量推計により、ネットワークの妥当性について検証を行う。

道路の混雑状況の指標となる「混雑度」が 1.0 以上となる路線（区間）を対象とし比較を行った結果、再編後も大きな差異は認められず、妥当な将来道路ネットワークであると評価された。